



[: みやぎの民話](#)



語り部先生のお話を元に弱冠、伝承を壊さない程度に創作してます。

猫の淨瑠璃

みやぎの民話



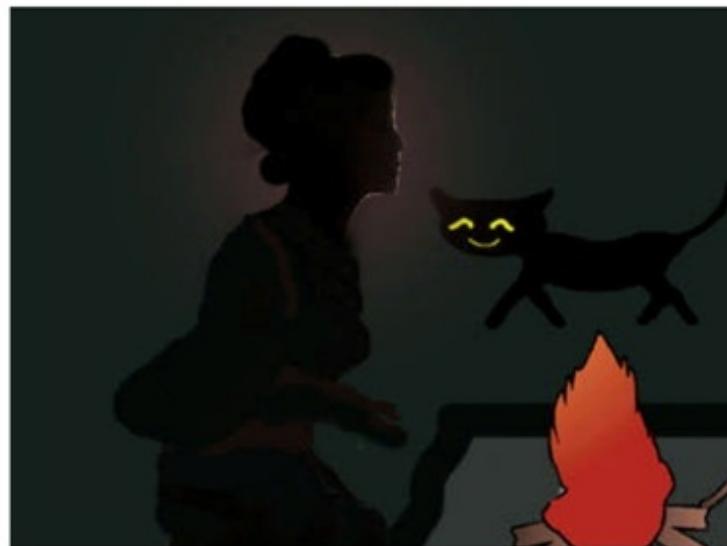
むがすむがす淨瑠璃語りつうのが流行っていたときの話だ

姑(しゅうとめ)「皆(みんな)して小屋がけの淨瑠璃見さ、行ってくっけど」
舅「このごろ物騒だから」
婿「申し訳ねえけど留守(ルツセ)してけろな」
って

嫁ごばり留守(ルツセ)させ、ネコと嫁だけ残して

皆(みんな)して淨瑠璃聞きさ行ったんだぞ

「ニヤーン」
と飼い猫のクロがじゃれついてきて
「オオ～留守番(ルッセ番)はオメエとオレばかりだな」
とネコの頭を撫でてな。



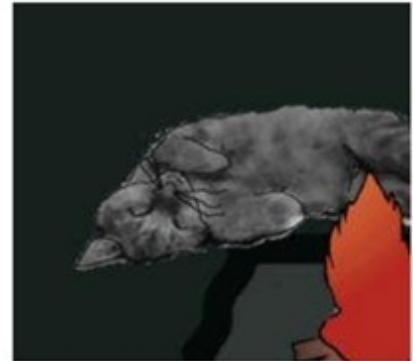
「徒然(とぜん)だべ」と飼い猫が嫁ごに訊(き)いたんど(徒然・とぜん、東北弁には古語の徒然(つれづれ)が訛って退屈とか寂しいの意味に使われる)

嫁ご「フ～徒然(とぜん)だちや」って答えだと
そしてネコが「淨瑠璃、聞きたいかあ」
嫁ごが「ああ聞きでえ聞きでえオラも淨瑠璃聞きさあ行きでがったちや」
って言ったんだと
そうしたらネコが
「そうなら、オレ、今夜の淨瑠璃『お里、沢市』だから、それ語って聞かせるからニヤー」
「ああ聞かせろ聞かせろ」
「うんだけど」
「ああ何や？」
「オレから聞いたって誰さも言うなよ」
「ああ誰さも言わねえ言わねえ」



「もし約束破ったらオメエを食い
殺す」ってネコ言ったど

嫁ごは笑って
「ハツハハ絶対(ぜってい)言わないがら
クロ聞かせてけろ」
とクロの喉を撫でた



ネコは重ねてある座布団の上にヒョイ
と飛び乗ると
語りはじめて



ネコはそして淨瑠璃を語り始め——。
沢市は～お里が毎夜家を抜け出すのを不信に思って一ベンベンー
ある夜に一あとをつけて行くと一夫の目を治してほしいと一ベンベンー
壺坂寺の観音に願をかけていたのだった一ベンベン
それを知った沢市は自分を恥じ、共にお寺に詣り一
お里の隙をみて裏山の谷に身を投げてしまうが一
絶望の余り後を追ってお里も飛び降りるが一
観音が現れ一二人の命を救い一
お里の心根を汲んで沢市の目を治してくれたニヤーンとネコはお里、沢市の一説をま
るで何かが
乗り移ったように語った



嫁ごは、お里になりきり、悲しくて悲しくて うおんうおんうおんうおん、って袂で涙拭き
拭き聞いたんだぞ。

みんなが帰ってきたっけ、ネコは淨瑠璃語りをやめてヒヨイッとどこかへ消えてな。
そしてみんなも風呂さ、入(へ)って
寝床に入って寝たんだ

そして次の朝にご飯食うどき
「昨夜(ユンベナ)の淨瑠璃」
「悲しがったちゃなあ」
「あいな淨瑠璃聞いたことも無(ねえ)がった」
とか
「こいな場面」
「あいな場面、一番悲しがったちゃなあ」
という話になって嫁ごもついつい
「本当(ほんだねえ)あの場面でわだすも泣いてしました。」



舅「なにやあ！」と口(くつあ)くわえた
沢庵吹き飛ばして叫んだ！

姑「おメエ！留守」(ルッセ)してろって
あんなに堅く言ったのに」
舅「オメエ誰がら聞いたのや」
姑「その淨瑠璃、聞いたどき家さあ居た
のが！」
舅「聞きさあ行ったのが！」ってみんなが
ら問いつめられて



嫁ごも苦しくなって ネコとの約束ヤブって



「ネコから聞いたのっさ…」

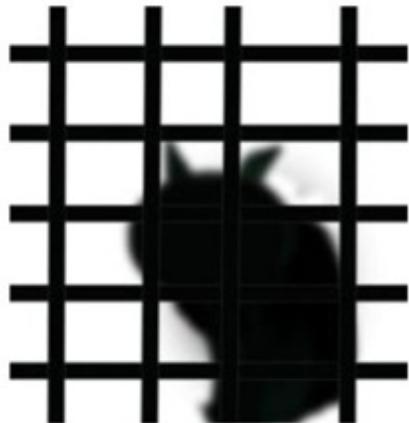
一同「…なにやあ？！」



「炉端で一人、しょぼんとしてだけ」
一同「そんでそんで」
「ネコ来て、語って聞かせたの
一」って言ってすまつたつうもん

一同「何やあ！ そいづは恐ろしいごどだ！」
婿、嫁ご抱きかかえて納戸に連れて行く
男「いいがあ！ オメエ！ 絶対に納戸がら出るなよ！」
って言い渡され。

ネコがかけの方で、そのごど聞いていて。
「あんなに約束したのに」と聞き耳たて
ていたんど



「ようしつ！便所さ、出てきたら食い殺してくれっぞ！」って



柿の木に駆け上がって

「今日、出てくるか！今日、出てくるか！ニヤーオ」って一日中、嫁ごを見張っていたけれど
全然(はっぱり)出てこながったんど。
「ニヤーゴなんだニヤー全然(はっぱり)出てこねえごど糞小便なんじよしてんだべ？」

納戸ではタラスバさ、大小便をたれて、そして嬌殿が始末して、いっこうに外に出ないがったんど



タラスバ(俵の蓋)地方によってはサン俵と呼ぶ地方もある。

七日も十日も外さ、出ないものだから…ネコ執念深く待って柿の木から下りてこないから ネコも干(ひ)からびて柿の木にしつかり爪たてつかまって下睨んだまんま干(ひ)からびで死んでいたんど。

嫁ご、涙ポロポロ流して



「悪かったなあクロとの約束破
ってクロを殺したようなものだ
ちゃなあ堪忍堪忍してけろ」つ
て嫁ご柿の木から下ろして。手
厚くネコを葬ったんだど

そしてなあ その家では、二度とネコ飼わねえがっと
ネコ飼わねえつうことを家の規則にして守ってる家は
田舎にはずいぶんあんだよ。

こんで よんつこもんつこ さげた